

# 9 ・ TeraTerm から VM にアクセスする

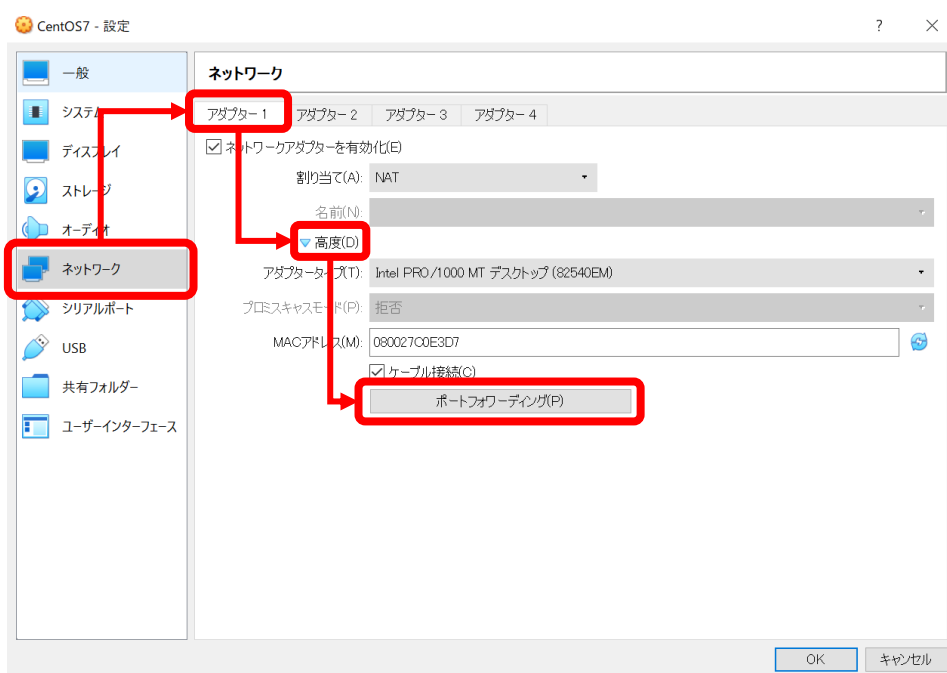
ホストの Tera Term からゲストの CentOS を操作できるようにし、ファイルを転送する

## 1. VM 側のネットワークを設定し接続する

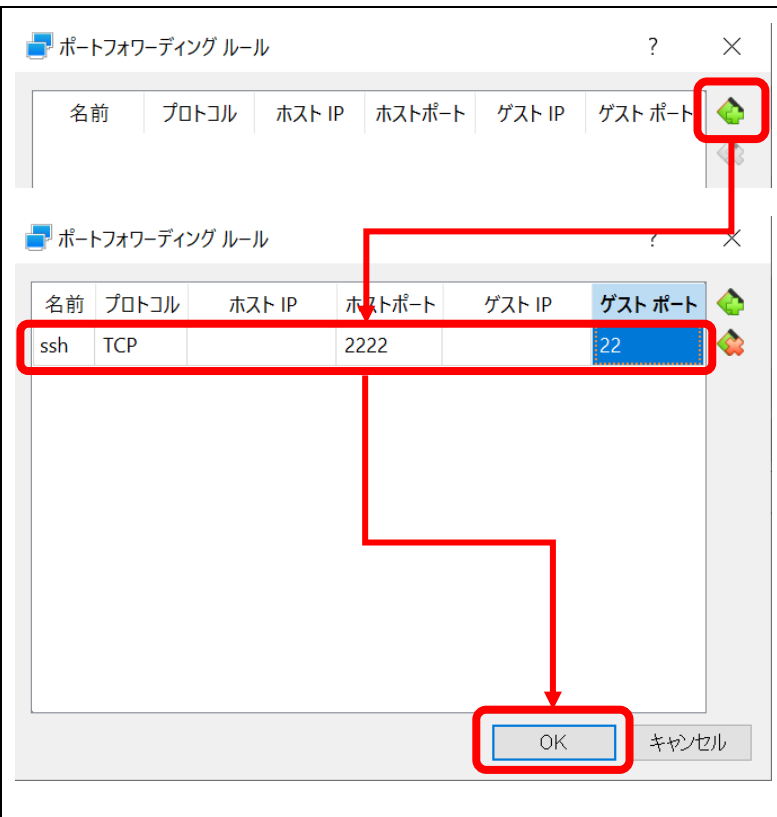
### 1 ・ VirtualBox を起動し、設定をクリック



### 2 ・ 「ネットワーク」 → 「アダプター1」 → 「高度」 → 「ポートフォワーディング」を選択



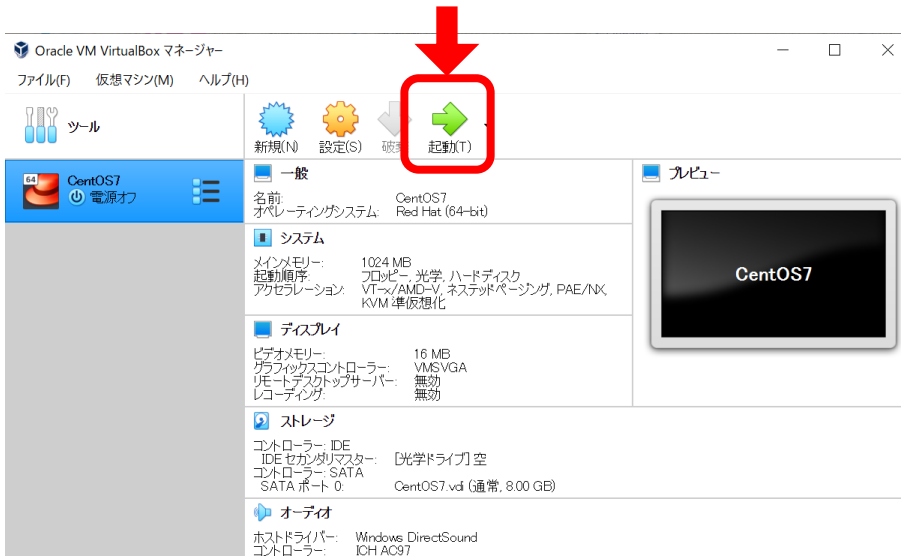
### 3・右上のルールを追加アイコンをクリックして、ルールを追加する



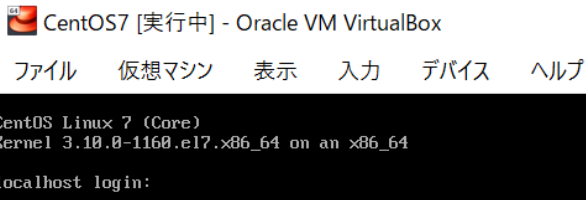
名前 (何でも良い)	ssh
プロトコル	TCP
ホストポート	2222
ゲストポート	22

ホストポートは、  
他と重複しなければ自由

### 4・トップに戻って起動する



## 5・ログイン画面



## 6・root でログインする

<pre>CentOS Linux 7 (Core) Kernel 3.10.0-1160.el7.x86_64 on an x86_64  localhost login: root Password:</pre>	パスワード入力しても画面上の変化は無いが、認識はされているので入力後に「Enter」 ※ スペルミスに注意!!
<pre>CentOS Linux 7 (Core) Kernel 3.10.0-1160.el7.x86_64 on an x86_64  localhost login: root Password: [root@localhost ~]#</pre>	「 [root@localhost ~]# 」 と出てくればログイン成功

## 7・ネットワークの接続

<pre>[root@localhost ~]# nmcli d DEVICE  TYPE      STATE      CONNECTION enp0s3  ethernet  disconnected -- lo       loopback  unmanaged  -- [root@localhost ~]#</pre>	「nmcli d」と入力して接続を確認 まだ未接続
「nmcli connection up enp0s3」で接続	
<pre>[root@localhost ~]# nmcli connection up enp0s3 Connection successfully activated (D-Bus active path: /org/freedesktop/NetworkManager/ActiveConnection/1) [root@localhost ~]#</pre>	
<pre>[root@localhost ~]# nmcli d DEVICE  TYPE      STATE      CONNECTION enp0s3  ethernet  connected  enp0s3 lo       loopback  unmanaged  -- [root@localhost ~]#</pre>	もう一度「nmcli d」で確認 接続されている
これだけだと起動のたびに接続しなければならないので、自動的に接続するように設定する	
「nmcli con mod enp0s3 connection.autoconnect "yes"」	
<pre>[root@localhost ~]# nmcli con mod enp0s3 connection.autoconnect "yes" [root@localhost ~]#</pre>	
特に反応はないが、再起動時に自動的に接続するようになっている	

8・確認のため、どこでも良いのでネットページにアクセスしてみる

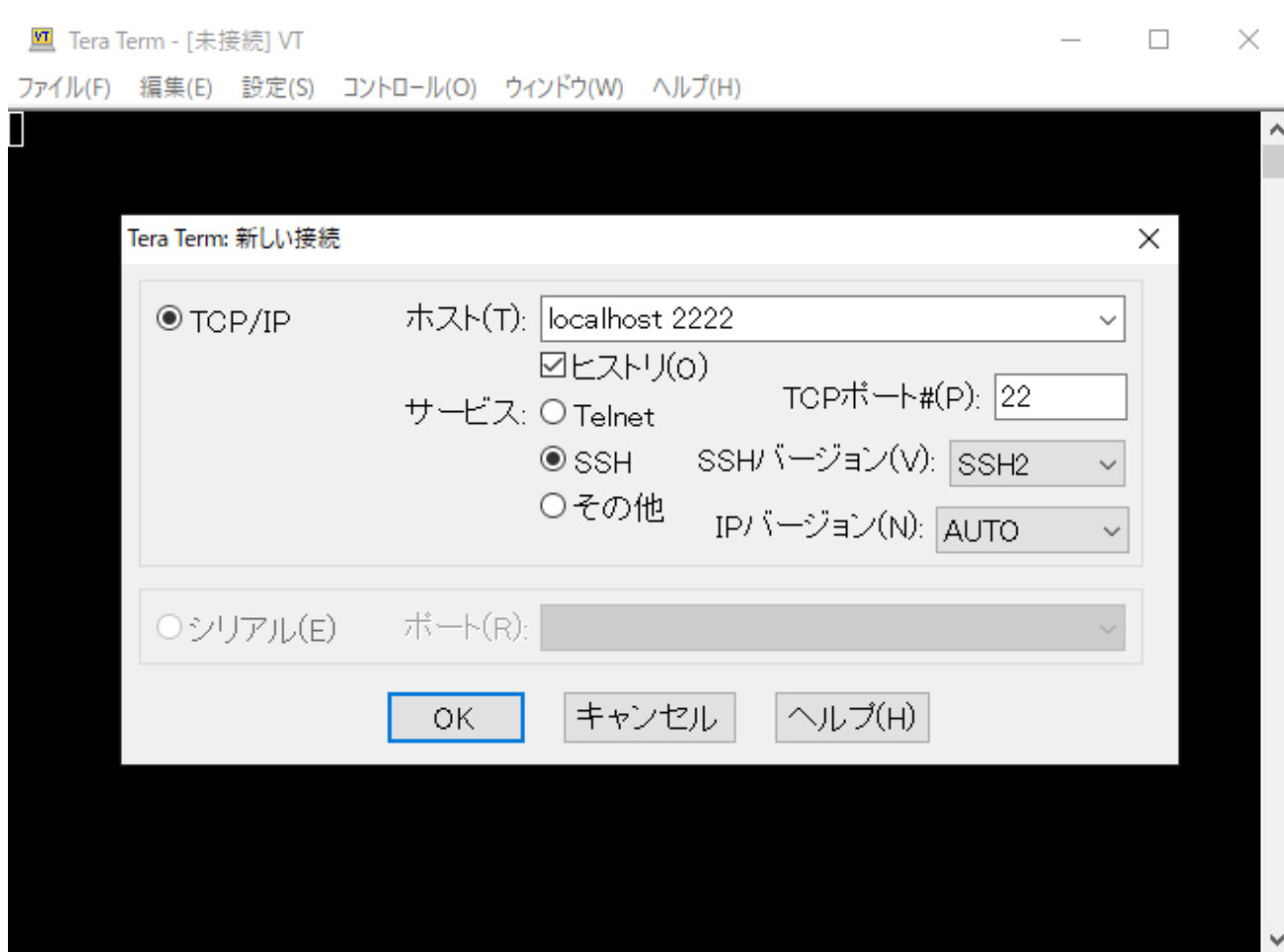
「curl google.com」で、グーグルトップに接続

```
[root@localhost ~]# curl google.com
<HTML><HEAD><meta http-equiv="content-type" content="text/html; charset=utf-8">
<TITLE>301 Moved</TITLE></HEAD><BODY>
<H1>301 Moved</H1>
The document has moved
<A HREF="http://www.google.com/">here</A>.
</BODY></HTML>
[root@localhost ~]#
```

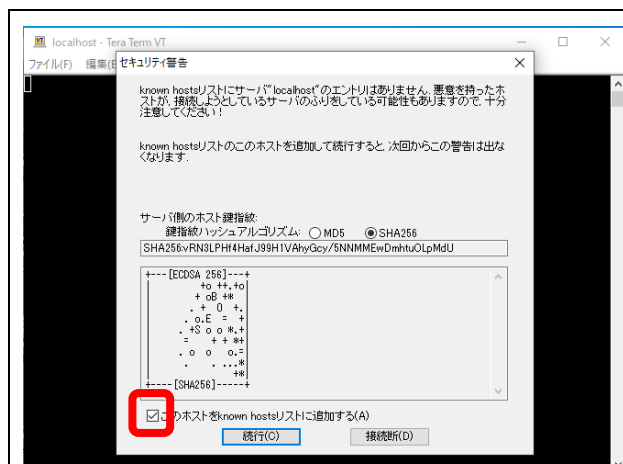
html のコードが返ってくれば、ネットに繋がっていると確認できる

## 2. TeraTerm で VM にアクセスする

1・TeraTerm を起動して、新しい接続を下図のように指定して「OK」を押す

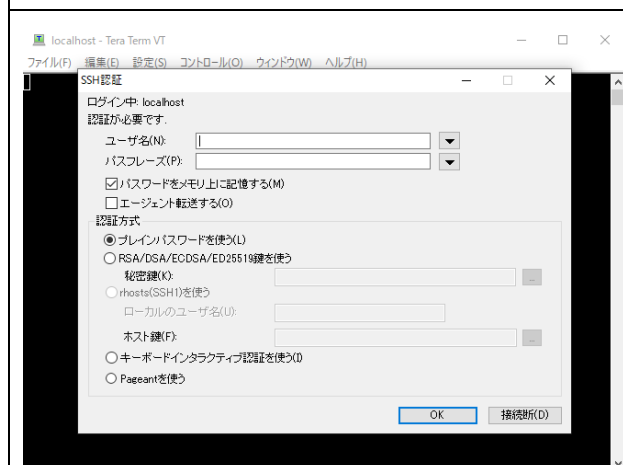


## 2・VM へログイン



セキュリティ警告がでる

次回から表示されないように、  
チェックボックスをチェックして続行

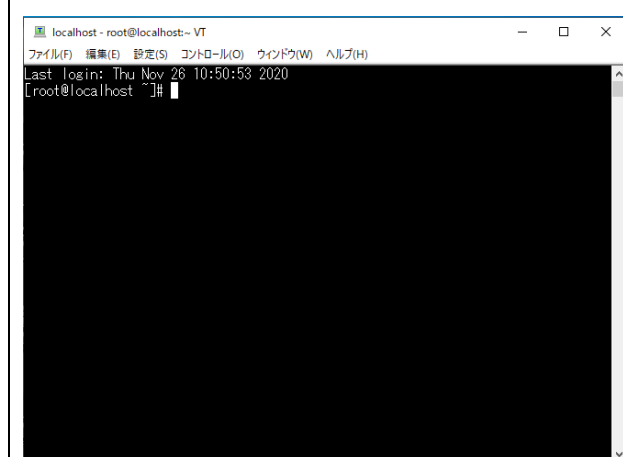


SSH 認証が表示されれば接続成功

VM に設定した

ユーザー、パスワードを入力して

「OK」でログインする



ログインに成功すると、

VM をホスト側から操作できる

Creation Date 2020 12